令和５年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和　5 年　8 月　9 日

評価対象事業		評価者	公的不動産活用課担当課長　田邊　幹浩
総務-17	車両管理事務 ■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課	公的不動産活用課
		関連課	

総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1　事業の目的

対象	公用車・共用貸出軽自動車等
意図	公用車・共用貸出軽自動車等を常に良好な状態に保つため。
効果	公用車・共用貸出軽自動車等を利用できる。

2　令和4年（2022年）度に実施した事業の概要

・公用車の配車・購入・修繕及び事故処理業務を行った。

3　事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業（主な経費等）	指標（単位）	令和4年度 指標（実績値／目標値） 事業費（決算／当初）（千円）	令和5年度 指標（目標値） 予算額（千円）	達成度
01	公用車運行管理事務	自動車運行管理委託	－	／ 5,119 ／ 5,793	5,864	
02	公用車購入事務	乗用自動車購入費	1（台）	0 ／ 1 166 ／ 21,699	7 35,098	0%
03	公用車維持管理事務	車両修繕料、保険料等	－	／ 15,404 ／ 19,527	21,811	
04				／ ／		
05				／ ／		
06				／ ／		
07				／ ／		
08				／ ／		
09				／ ／		
10				／ ／		
		財源内訳	国県支出金	／ 2,000	4,000	
			地方債	／		
			その他特定財源	／ 5,200	5,000	
			一般財源	20,689 ／ 39,819	53,773	
		事業費の合計（千円）		20,689 ／ 47,019	62,773	
		人件費（千円）		40,060	40,266	

4　この事業に関わる職員数（毎年度4月1日時点）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	4.3	4.9	5.0	4.9		
会計年度任用職員	1.6	1.6	1.6	1.6		

5　評価結果

（1）最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	公用車運行管理事務	指標設定に馴染まないため。	公用車にかかる事務を実施し、市業務で公用車を円滑に使用できる体制を取った。	職員（運転手）による運転が必要な業務に対応する職員の確保
02	公用車購入事務	公用車の配置数その推移、増減の状況を把握できるため。	必要最低限の車両台数を購入することで、行財政運営に寄与した。	長期間使用している車両が増加していくため、代替車両について、購入以外の効率的な手段を検討する必要がある。 また、低炭素社会の構築に向け、環境負荷の少ない移動手段（EV等）についても購入していく必要がある。
03	公用車維持管理事務	指標設定に馴染まないため。	市業務に使用する公用車を維持、管理し、市業務の円滑な実施に寄与した。	長期間使用している車両が増加し、修繕料が増加することが予想されが、令和4年度に電気貨物自動車が販売再開したため車両の更新が進められる。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

（2）視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		2　事業費の削減が検討できる事業がある	
	事業の外部化（民営化・業務委託等）はできないか		2　外部化に向けて検討できる事業がある	
	関連・類似する事業の統合はできないか		3　統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4　市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		1　民間によるサービスで代替できる事業がある	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		3　上位施策の貢献度を計ることはなじまない	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3　受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2　市民等と協働して実施する事業はない	
			協働実施済の場合のパートナー	

（3）総合評価　　※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】　□ 拡充　□ 改善・変更　■ 現状維持　□ 縮小　□ 休止・廃止

長期間使用している車両の置き換えについて費用負担を考慮した手段を検討する。運転手の配置は、退職職員の状況を見ながら、現状維持ができるよう計画的に行っていく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標（単位）						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標（単位）						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク（県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値）

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	